

(様式2B) 個別箇所評価総括表〔継続〕(要領第5の2(1)関係)

分野	代行業業	事業番号、事業名	59 県代行				補助・単独別	補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (当初) H23	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
1	きたやまかないぬま (村)北山方飯沼線 みさと いしいぬま 美里～飯沼 (中川村)	道路改良工 L=1900m W=4.0(5.0)m (工期:H23～H27)	道路改良工 L=220m	道路改良工 L=340m	道路改良工 L=1,680m	評価時 (当初) H23	18%	計画どおり進んでいる。	生活基盤の強化、 (主)伊那生田飯田線 の迂回路として重要度 が高い。 地域住民との合意形 成も図られており、事 業が順調に進んでい ることから、継続して 事業を実施したい。	重要性が認められ る。	「継続」
		4億4000万円	7570万円	8000万円	3億6000万円	必要性 B 重要性 A 効率性 B 緊急性 B	特記事項 特になし。	住民参加状況等 工事期間中の全面通行止に理解をいただいている。			
2	かみむら (市)上村1号線 かみむらおおだいら 上村大平 (飯田市)	道路改良工 L=1520m W=4.0(5.0) ～5.5(7.0)m (工期:H23～H27)	道路詳細設計 用地測量	道路改良工 L=300m	道路改良工 L=1,520m	評価時 (当初) H23	5%	計画どおり進んでいる。	生活基盤の強化、観 光地へのアクセス向 上の面から重要度が 高い。 地域住民との合意形 成も図られており、事 業が順調に進んでい ることから、継続して 事業を実施したい。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
		4億3000万円	1999万円	6000万円	4億1000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 B 緊急性 A	特記事項 特になし。	住民参加状況等 特になし			
3	かわわかいぬいの (町)川向榎野線 かわわかい 川向 (南木曾町)	道路築造工 L=1800m W=5.5(7.0) ～6.0(8.0)m (工期:H19～H26)	道路築造工 L=240m	道路築造工 L=450m 橋梁上部工	道路築造工 L=1,260m 橋梁2橋	評価時 (変更) H22	53%	平成24年度は、道路築造を引き続き実施す る。	生活基盤の強化、国 道19号の迂回路として 重要度が高い。 地域住民との合意形 成も図られており、事 業が順調に進んでい ることから、継続して 事業を実施したい。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」
		17億2000万円	2億4000万円	2億2800万円	8億6000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 C	特記事項 H22変更 工法変更5億円増 工期2年延長 地質調査結果に基づく工法変更 木曾川右岸道路計画区間の一部である。	住民参加状況等 特になし			
4	なかがやて (市)中川手線 どくち 土口 (長野市 (信州新町))	道路改良工 L=500m W=4.0(6.0)m (工期:H20～H25)	道路改良工 L=150m	道路改良工 L=211m	道路改良工 L=350m	評価時 (当初) H20	28%	計画どおり進んでいる。	生活基盤の強化、役 場や病院へのアクセ ス向上の面から重要 度が高い。 地域住民との合意形 成も図られており、事 業が順調に進んでい ることから、継続して 事業を実施したい。	小川村を含む医療機 関へのアクセス道路 であり、1.5車線での 整備の必要性は認め られる。	「継続」
		5億円	5806万円	1億円	3億5900万円	必要性 B 重要性 B 効率性 A 緊急性 C	特記事項 特になし。	住民参加状況等 沿道の草刈りや側溝清掃を地元で行っている。			

分野		代行事業		事業番号、事業名		59 県代行		補助・単独別		補助		建設部 道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
5	(市)4-116号線 こすげ 小菅 〔飯山市〕	道路築造工 L = 1,770m W = 4.0(6.0)m 〔工期：H20～H25〕	道路築造工 L=510m	道路築造工 L = 600m	道路築造工 L = 1,260m	評価時 (当初) H20	51%	計画どおり進んでいる。	生活基盤の強化、観光地へのアクセス向上の面から重要度が高い。 地域住民との合意形成も図られており、事業も順調に進んでいることから、継続して事業を実施したい。	重要性が認められる。	「継続」		
						必要性 B	特記事項						
						重要性 A	特になし。						
						効率性 A	住民参加状況等 沿道の植栽等の美化活動、路面の補修や側溝清掃を地元で行っている。						
6	(村)長瀬秋山線 あきやま 秋山 〔栄村〕	道路築造工 L = 1,060m W = 5.5(7.0)m 〔工期：H17～H24〕	落石防護工 L=130m	道路築造工 L=150m	道路築造工 L = 150m	評価時 (変更) H19	96%	計画どおり進んでいる。 H24年度全区間の完了を図る。	生活基盤の強化、秋山郷へのアクセス向上及び国道405号の迂回路として重要度が高い。 地域住民との合意形成も図られており、工事も順調に進んでいるため、継続して事業を実施しH24完了とする。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
						必要性 A	特記事項						
						重要性 A	特になし。						
						効率性 A	住民参加状況等 沿道の草刈りや花植え等を地元で行っている。						
合計	6箇所	47億3400万円	5億9301万円	6億1300万円	22億1400万円		A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満						